

4-1-12-1 病理検査室

1. 診療活動

病理検査室では病理組織診、細胞診、病理解剖を柱とした業務を行っている。病理組織診では種々の抗体を用いた免疫組織化学的検査や電子顕微鏡的検索をルーチンに行い、胎児・胎盤・小児疾患、産科・婦人科疾患などに関する質の高い病理診断を行っている。さらに、高度先進検査室との密接に連携し、FISH, DNA 解析を行い、迅速かつ正確な診断、治療方針の決定に役立てている。研究所との人的交流も積極的に行い、腫瘍などの詳細な生物学的解析を行っている。また、周産期関連では臨床医をまじえて詳細に検討し、胎盤血管の検索など胎児治療に直結する検索を行っている。

院内の臨床-病理カンファレンス(ICU、腎臓科)の定期的開催、院内合同カンファレンス(腫瘍、胎児)への参加、他施設からの病理研修生の受け入れを行っている。また、関東・東海・東北地区の小児病理専門医の症例検討会も開催し、院内からの参加者も加わって、活発な意見交換が行われている。また、日本小児病理研究会会員への情報発信にもかわり、わが国における小児病理の拠点として活動している。

2. 研究活動

高度先進検査室、研究所との密接な連携のもと、小児固形腫瘍を対象として病理学的、細胞生物学的ならびに分子生物学的な解析方法を用いた研究を行っている。

胎児治療の中心的施設の病理部門として、稀少症例の蓄積を通じた周産期病理にかかわる情報発信、意見交換を積極的に行っていく予定である。

3. 研修活動

3.1 EPICS & Cytomics One Day スクール

2005年2月23日 Cytomics FC500 基礎コース 藤沢京亮

2005年3月11日 Cytomics FC500 基礎コース 小野ひろみ

病理検査件数(平成16年度)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織迅速顕微鏡	5	3	10	9	6	8	4	6	5	7	7	7	77
組織顕微鏡検査	116	93	149	124	142	118	111	105	100	126	95	142	1421
組織顕微鏡 2臓器 n×2	19	13	18	15	24	19	18	9	12	15	15	18	390
組織顕微鏡 3臓器 n×3	0	2	6	5	3	0	2	0	1	2	4	3	84
電子顕微鏡検査	7	3	7	8	9	2	5	5	4	2	6	6	64
免疫抗体法検査	12	9	18	18	22	7	21	14	10	9	19	20	179
病理組織検査(12)計	178	140	238	204	236	173	183	148	146	180	169	220	2215
細胞診(婦人科)	179	166	185	153	175	156	172	200	164	167	165	197	2079
細胞診(その他)	50	35	42	45	26	24	38	48	48	37	22	32	447
(特殊染色)	67	58	77	77	67	54	65	78	71	57	49	59	779
(免疫染色)	12	9	20	12	18	20	14	19	13	7	20	19	183
細胞学的検査(13)計	308	268	324	287	286	254	289	345	296	268	256	307	3488
剖検数(38)計	1	5	2	2	6	2	1	2	1	3	3	3	31
ブロック数(39)計	40	200	80	80	240	80	40	80	40	120	120	120	1240